



秩父百年の森通信

秩父の山へ植える木は、秩父の木の遺伝子を引き継いだ木を植えよう！と、秩父の山からカエデの種や、ブナ・ミズナラのドングリを採取して3年ほどポットで育て苗畑へ移植、苗畑で元気に育った苗を山へかえしていく活動を始めました。秩父市立第2中学の生徒と育て、2008年山吹沢へ植栽したミズナラははるか見上げるほどに大きくなっています。秩父の森の苗づくりにこだわり続けてきた苗づくりに新たな展開です、カエデ樹液プロジェクトとして、カエデの樹液を活用し地域活性化を図る目的で、山の人たちと秩父樹液生産協同組合を立ち上げ、さらに、未来へ向けてカエデの育苗を進めてきました、樹液を沢山採取でき・樹液が美味しいなどの優等生の木を育てようと埼玉県農林試験場と共同研究が始まります。



2003年秩父第2中学で苗づくりが始まる



2005年苗畑へ移植



2006年山吹沢で植樹



2017年見上げるほどに育つ

● 山吹沢県有林の森づくり

山吹沢の芽吹き観察と鹿柵補修を2017年5月27日(土) 参加者7名でおこないました。山吹沢で植樹を初めて12年、植樹を行い、管理してきた区画では、遥か見上げるほどに大きく育ち鬱蒼とした森を形成してきました。上部の植樹活動を行っていない箇所は土砂が流れ木々も疎らです。



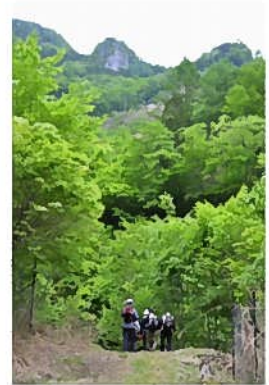
新芽を観察



倒木の撤去とネットの補修



山吹沢植栽地観察



山吹沢植栽地

● 原石山水源の森づくり

植生回復状況の観察を定期的に行っています。草も育たなかった植栽地ですが、徐々にですが緑が増えています。鹿食害防御ネットに囲まれたエリアの中と外では一目瞭然、鹿柵の外はまるで手入れの行き届いた庭のようで、内側の一部は鬱蒼としてきています。植栽木も少しですが元気に育ってきたように思われます、多くの実生苗も生育が進んでいます。一度壊れた植生が元に戻るのには長い年月がかかることを思い知らされています。



鹿柵内外



実生



チチブフジウツギ

● ふたばの森づくり

2017年6月18日(土)参加者10名で、園児たちが植えた苗を傷めないよう慎重に下草刈り作業を行いました。園児が植えた苗はスクスク育っています。



2017年11月11日(土)子供たち(53名)、先生方(12名)、NPOスタッフ5名が参加して、年少のときドングリの植え付け、年中のときポットの植え替えを行い、子供たちの手で育てられた、ミズナラやイロハモミジの実生苗126本植樹しました。



● 槌打 未来へつなぐ森づくり

2017年8月27日(土)参加者6名で下草刈りを行いました。一昨年からはじまった森づくりは2mを超えるまでに育っているカエデも、鹿などの獣害対策ネットで守られたエリアは雑草も大きく伸びていましたが、参加者全員の頑張りでスッキリと。



2017年より主催を街(住宅メーカーとオーナー)と山の人たちが行い、NPOは支援と苗の提供を行う体制へ移行しました。

2017年10月29日(土)雨の中、街からの参加者と一緒にカエデの苗を植樹しました。



● 結実観察とどんぐり拾い

2017年7月22日、妻坂峠から大持山までブナやミズナラの結実状況の観察を行いました。久々に多くの実を付けたブナを観察できました。



2017年10月7日、雨あがり、ブナの種の採取に妻坂から大持山まで、7月の観察時は豊作を期待していたが、残念ながら木についたまま虫に入られ発芽しそうなのは僅か。ブナの種430粒を採取、他にはミズナラのどんぐりやカエデの種を500粒採取しました。



● 苗畑作業

シカやウサギによる食害被害が多い山間部に近い苗畑では、シカ柵を設置し苗づくりの環境整備を行なっています。カエデやミズナラなどの種の植えつけと、ポット苗の直植えを行いました。苗畑で育てた苗は、槌打地区・小森地区などで422本を植樹しました。



種のポット植えつけ

ポット苗の移植

2号畑除草

苗の掘起こしと根巻き

● 地域活性化支援プロジェクト

■ 千鹿谷郷ひなた村の山椒プロジェクト

限界集落に暮らす人々のグループ「千鹿谷郷 ひなた村」の持っている知恵・技術などを活かし、「いなか」の奥深い文化の香りのある食材「山椒」を利用した特産品を開発、ブランド化することにより地域の活性化を図る取り組みへの支援活動です。防鳥ネットを設置して、アゲハ蝶食害対策としました。4月には山椒の若芽佃煮を試験生産しました。



アゲハ蝶食害対策ネット張り

山椒の若芽

山椒の若芽佃煮試作

山椒の若芽佃煮

■ カエデ樹液プロジェクト

2018年1月10日槌打から設置をはじめ、3月8日撤収まで、約13tの樹液を採取しました。作業のようはNHKニュースはじめ、TBS テレビや読売新聞など、いろいろなメディアで取り上げられました。



■ 第3のみつプロジェクト

2017年6月4日 東京渋谷ヒカリエ8F d47 design travel storeで第3のみつの紹介活動を行いました、



● 環境学習支援

■ 日本薬科大学 BP

2017年5月14日 日本薬科大学BP受講生の皆様のフィールド学習支援を入川溪畔林で行いました、薬木や薬草・毒草を日本薬科大学 高野先生とともに解説しました。



■ (社)日本賢人会議所

2017年5月15日 日本賢人会議所の皆様を、三峰神社の境内や参道の樹木や、江戸時代の魚河岸との関わり、江戸の海と山のつながりを解説しました。



● お知らせ

◆ メディア掲載情報

共同通信社と全国のブロック紙・地方新聞社が運営するニュースサイト「47news」で第6回地域再生大賞優秀賞「カエデの恵みで森林再生秩父百年の森」の後追い記事として、活動紹介記事が掲載されました。

<https://www.47news.jp/2234148.html>



■ 「和メープル」プリンが全国販売

メイトーブランド協同乳業(株)様において山・里・街の循環型の森づくりを目指す弊会の取り組みに賛同を頂き、秩父産メープルシロップを使用し「秩父・和メープル」プリン全国販売されました。“食べる事は守る事”売り上げの一部が森づくり基金へ還元されました。



<会員募集>

豊かな森がいつまでも続くように、いま山の人、里の人、街の人たちが共にかかわることがとても大切になっています。私たち NPO 秩父百年の森は、4つ活動(1)山村と都市との交流促進に関する事業、(2)持続可能な森林・林業モデルの形成に関する事業、(3)環境教育支援に関する事業、(4)地域活性化ビジネスモデルの形成に関する事業、を通して森とかかわり、森を生かす試みを行っています。私たちと一緒に活動してみませんか。

メールアドレス：info@fagusrenata.com までご連絡ください。

<お便り募集>

会員の皆さんからご意見、ご感想、活動原稿をお待ちしております。

メールアドレス：info@fagusrenata.com

特定非営利活動法人 秩父百年の森

〒368-0072

秩父郡横瀬町大字横瀬 1965 番地